上天草市議会だより

えがお

Kamiamakusa-city assembly report

上天草市
第16号
2014年5月15日発行
発行／上天草市議会
編集／上天草市議会
広報編集特別委員会
TEL 0964-26-5536(直通)

目　次

P2～5・・・・・・・・・・・・・ 3月定例会
P6・・・・・・・・・・・・・・・・ 総合計画審査特別委員会
P7～9・・・・・・・・・・・・・ 常任委員会報告
P10～13・・・・・・・・・・・ 一般質問 市政のココを問う
P13・・・・・・・・・・・・・・・ 議員活動報告
P14～15・・・・・・・・・・・ 視察研修報告

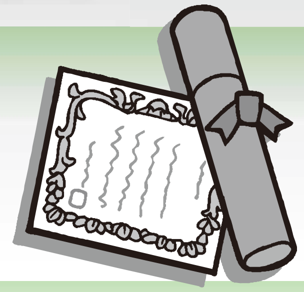
定例会 －３月－

３月定例会は、２月25日から３月19日まで開催され、条例17件、予算22件、その他８件を審議しました。議案はすべて原案可決し、請願１件、陳情１件を継続審査としました。

条例制定・改正（主なもの）

●表彰条例の一部改正

表彰の種類の追加及び功労者に対する特別待遇を廃止すること等に伴い、条例の一部を改正するものです。



可決

●漁港管理条例の一部改正

消費税法及び地方税法の一部改正により、消費税及び地方消費税の税率が引き上げられること等に伴い、市が管理する漁港の使用料等の額を改めるため、条例の一部を改正するものです。

可決

●奨学金貸与条例の一部改正

奨学金貸与の適正化を図るため、貸与資格者の要件を見直したこと等に伴い、条例の一部を改正するものです。

可決

●大矢野自然休養村管理センター条例の一部改正

◀自然休養村管理センター

上天草市大矢野自然休養村管理センターにおいて、物品販売を目的とした使用を許可すること等に伴い、条例の一部を改正するものです。

可決

平成26年度予算

平成26年度一般会計予算 可決

３月定例会では、平成26年度一般会計予算約171億円が上程され可決しました。前年度と比較して10.3%、16億400万円の増となっています。主な内訳は自主財源が前年度比0.3%増の26億5,000万円、地方交付税などの依存財源が3.1%増の131億5,100万円です。平成31年度からの地方交付税の一本算定に向け、今年度から激変緩和期間に入ることもあり、将来的な展望も含めた観点からも各予算案に対してきめ細かい対策を求める意見が議員から寄せられました。

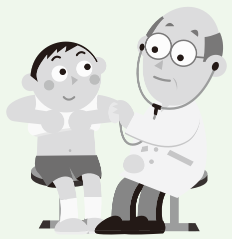
歳出の主なもの（年額）

移住促進事業

本市の人口減少の抑制の一助とするための事業。田舎暮らし体験モニターツアー委託料、移住促進モデルタウン住宅取得助成金など。

484万円

健康診査事業



市民の健康保持、疾病の早期発見・早期治療及び生活習慣病の予防を目的として各種検診並びに無料のがん検診を実施するもの。

4,430万6,000円

有害鳥獣駆除委託料

イノシシの被害対策としての捕獲委託料。（8,000円×1,300頭）

1,040万円

前島地区総合開発整備事業

前島地区においての観光交流拠点施設設置に係る設計業務、交通利便性向上のための整備、用地取得費など。

3億5,000万円

乗合タクシー運行補助事業

上天草市内の交通空白地域を解消し、生活交通の確保維持を目的に、実施区間での乗合タクシーの運行実績に応じて、タクシー事業者に運行経費の一部を補助するもの。

1,028万5,000円

緊急通報システム事業

65歳以上の一人暮らしの老人や重度身体障害者の方が自宅で緊急事態が発生した時、消防署や在宅介護支援センターに通報する端末機を無償で貸与する事業。

529万2,000円

市制10周年式典関係

記念式典の開催に係る経費。式典では市政に多大な貢献のあった方々の表彰、上天草市歌の発表並びに市にゆかりのあるアーティストや地元演芸団体によるライブも開催予定。記念誌を13,000部作成し全戸配布予定。

565万円

平成26年度の主な事業

姫戸統括支所建設事業　総務常任委員会

姫戸統括支所は、老朽化に伴う設備の劣化などにより、市民に対する安全・快適な行政サービスの提供に支障を来していること。また、耐震強度が不十分で市民の生命・財産を守るための防災拠点として、適切な機能を有していないことなど多くの課題を抱えており、新姫戸統括支所の建設を進めます。（平成27年度末に完成と行政サービスを開始予定）

2億5,877万4,000円

▲姫戸統括支所

農業農村建物施設等管理事業　経済建設常任委員会

▲上天草物産館さんぱーる

上天草物産館さんぱーるを国土交通省が認定する『道の駅』に登録申請するにあたり、施設利用者の利便性向上のために屋根付き身障者用駐車場などの設置を行うもの。また、登録されることによる施設利用者の増加を見込み、平成27年度以降に施設改修を計画しています。

2,130万円

上天草看護専門学校の建て替え事業（学生寮含む）　文教厚生常任委員会

看護学校は築40年を経過し老朽化が著しく、壁の崩落・天井コンクリートの剥離・漏電による停電などが頻繁に発生している状況です。学生寮も老朽化し、また個室が無く一部屋をカーテンで仕切り２～３人で使用しているなど、学校及び学生寮ともに建て替えが必要であるため、現在の看護学校を解体し、同じ場所に学校と学生寮を建設します。（１～２階が学校、３～６階が学生寮の予定）

7億9,000万円

▲上天草看護専門学校

Kamiamakusa-city assembly report

請願・陳情

件　　名	提　出　者	結　果
ＰＦＩによる海洋博物館建設の可能性調査、その他の要望	天草四郎観光協会　会長　千原光明 前島地区　区長　島崎伸一 明考会　会長　荒木正昭 上天草市商工会　会長　田中　亨	継続審査
大手原区の市道の舗装についての陳情書	大手原区　区長　島田健吉	継続審査

推薦

農業委員会等に関する法律の規定による議会推薦の農業委員2名が決まりました。

◆水野　美奈子さん（大矢野町）

◆西本　清美さん（松島町）

反対討論

●議案第7号　漁港管理条例の一部改正

●議案第8号　準用河川占用料徴収条例及び港湾管理条例の一部改正

宮下　昌子議員

▽この2議案は、消費税増税に伴う使用料などの引き上げである。消費税率引き上げには反対しており、たとえ増税になったとしても、市民の暮らしが大変な中での引き上げはすべきではない。

修正動議

議案第27号

平成26年度上天草市一般会計予算

否決

前島地区総合開発整備事業費3億5千万円のうち、設計委託料2千万円及び民有地取得費1億8千万円を減額する修正動議が出されました。

※修正動議とは修正案のことです

議案等の賛否表

賛否の分かれた議案などについて、下記のとおり公表します。

議案番号	議案名	賛否	結果	嶋元秀司	切通英博	平田晶子	何川雅彦	田中たつお	宮下昌子	西本輝幸	髙橋健	小西涼司	島田光久	新宅靖司	田中万里	園田一博	桑原千知	渡辺勝也	田中勝毅	津留和子	堀江隆臣
議案第7号	漁港管理条例の一部改正	原案可決	16・1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第8号	準用河川占用料徴収条例及び港湾管理条例の一部改正	原案可決	16・1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第17号	上天草総合病院使用料等徴収条例の一部改正	原案可決	16・1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第27号	H26一般会計予算（原案）	原案可決	13・4	○	○	○	○	●	●	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	－
議案第27号	H26一般会計予算（修正動議）	否決	4・13	●	●	●	●	○	○	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	－
議案第43号	H26一般会計補正予算	原案可決	15・2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	－

◎議案名は一部省略しています。　○賛成　●反対　－議長は除く

総合計画審査特別委員会

おどんたちが上天草・未来計画「上天草市第2次総合計画」を策定 可決

この「上天草市第２次総合計画」は、現在の総合計画が25年度末に10年間の計画期限を迎え計画終期になるとともに、本市を取り巻く環境変化などを鑑み、**平成26年度から平成35年度までの10年間を計画期間とするもの**です。

去る、２月28日に総合計画審査特別委員会を開き、全般にわたり、詳細かつ慎重に審査が実施され、異議なく可決されました。

◇「基本計画」について所管ごとに審査された内容（一部）◇

◎総務企画部所管
- 交通弱者を鑑みた場合の乗合タクシー事業
- 消防団活動の活性化に係る団員の確保
- 移住関係事業に係る目標設定　　など

◎教育部所管
- 低学年向けの英語学習
- 地域、家庭、学校が連携した子育てやそれに係る関係機関の連携　　など

◎市民生活部所管
- 太陽光発電以外の再生可能エネルギーの検討状況　　など

◎健康福祉部所管
- 子育て環境への取り組み
- 高齢者施策としてのシルバー人材センターの活用　　など

◎経済振興部所管
- 観光戦略に係る「海」の活用の考え方
- 当市の豊かな自然環境の保護と活用の考え方　　など

◎建設部所管
- 道路環境整備に関する目標指数　　など

第２次総合計画の概要版は全戸配布しています。また、市ホームページからもご覧いただけます。

平成35年度に当市の人口2万9千人以上につなげる!!

委員長：津留和子
副委員長：桑原千知
委員：他全議員

委員会の様子

上天草市議会 常任委員会

３月５日の本会議で委員会に付託された案件の審査を、３つの常任委員会で行いました。委員会審査における主な質問とその答弁、委員から出た意見などを紹介します。

総務常任委員会

３月10日、付託された議案について審査を行いました。その経過、並びに結果についてご報告します。

議案第18号 平成25年度一般会計補正予算（第７号）〔所管部門〕 可決

問 地域環境保全対策費補助金事業250万円の減額は、せっかくの補助金事業を実施できなかったことは反省すべきでは。

答 一般公共海岸へ漂着する流木などの回収・処理を行うため計上していましたが、幸いなことに災害の発生が少なかったため、２００万円を減額するものです。50万円の減額に関しては、周知用の登り旗、チラシ、ポスターなどを作成するため、予算の組替えをお願いするものです。26年度に関しても、補助の内示を受けていますので、25年度の反省を踏まえ、補助金の有効活用を心がけて参ります。

委員からの意見
海岸漂着物・漂流物の問題は、本市の永遠の課題であり、今回、事業が実施できなかったことは誠に遺憾である。今後このようなことがないよう業務を遂行していただきたい。

議案第27号 平成26年度一般会計予算 〔所管部門〕 可決

問 峯地区市有地立入防止柵設置工事30万円は、地ならしを行った際に化石が発掘されたための対策なのか。また、将来的にはどのような活用を考えているのか。

答 貴重な文化財などを保護する目的で設置するものであり、現時点では今後の土地の活用計画は決まっていない状況です。地元の方々の協力を得ながら、市民の皆様がいつでも利用できるような環境整備に努めていきます。

議案第36号 平成26年度電気事業特別会計予算 可決

問 本事業の着工時期、売電時期、売電収入は何カ月分を計上しているのか。

答 ３カ所の着工を４月から順次予定し、10月１日から売電できるように進めています。売電収入は１年間分を計上していますが、契約を経て金額などが確定した時点で補正させていただきます。

陳情第９号 谷地区水路整備に関する陳情書 取り下げ

12月議会より継続審査としていたこの案件に関し執行部から、その後の経過説明・見解を受けました。委員会では、上流部分と下流部分とで担当する部署も分かれており、その取り扱いや見解も異なることから、再度地元と協議の場を設ける必要があり「継続審査」に決定しましたが、３月13日付けで、陳情取り下げの届け出がありました。

12月９日の現地踏査の様子

経済建設常任委員会

現地踏査（3/12）

・前島地区
・市道山田大手原１号線

前島地区

大手原地区

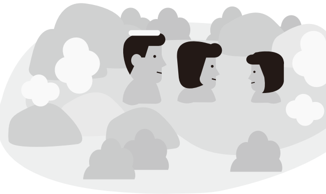
経済建設常任委員会

3月12日、現地踏査及び付託された議案について審査を行いました。その経過、並びに結果についてご報告します。

議案第18号 平成25年度一般会計補正予算（第7号）〔所管部門〕 可決

問 指定管理者変更に伴うスパ・タラソ天草の備品購入について、施設運営に必要な物品は、指定管理者間で引継ぐか、新たに購入すべきではないか。
また、新指定管理者の事業計画とは、どのような計画か。

答 施設運営に必要な備品については、新たに取り扱いの規定を設け、市で買い上げ後、新指定管理者に購入してもらうよう協議いたします。また、指定管理者間の引継ぎ、協定書の内容などの精査を行い、事業計画と併せて委員会に説明を行います。



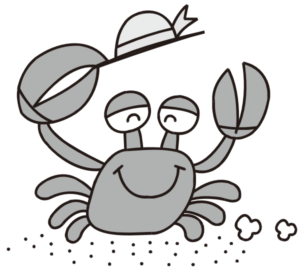
議案第27号 平成26年度一般会計予算〔所管部門〕 可決

問 水産業費の放流事業について、どのような効果が出ているのか。

答 市場での放流魚混入率の調査ではヒラメ25%、マダイ7%、ガザミ6%との調査結果が出ていまして、一定の効果が見られることから、今後も全県的に継続される予定です。また、当市ではナマコの稚魚放流も行っており、新年度においても5万尾の放流を予定しています。

問 道路橋りょう費について、市道の舗装等の要望及び急を要する補修箇所など、どのように対応していくのか。

答 各町の均衡も踏まえ、優先順位の項目を定めて取り組みます。また、危険箇所への対応については、危険度も考慮し臨機応変に対応いたします。



問 商工費の前島拠点用民有地取得費について、十分な住民説明会は実施しているのか。住民にとっては、道路の入り口部分など不安材料があると聞いたが、どのように対応するのか。

答 以前、説明会を行ったときに「道路の整備が前提」などの意見がありました。住民の方には生活道路も含めた事業ですので、早々に説明会を開き、住民の方の同意を一番に考えて、慎重に対処していきたいと思います。

前島開発予定地

委員からの意見

前島地区開発事業については、地元の同意も得ない状態での予算計上であり賛同できない。まず、住民説明会を開き、意見や要望を聞き取り、住民の方の同意を得て事業を行っていただきたい。

文教厚生常任委員会

現地踏査（3/13）

・上天草看護専門学校
・看護学校学生寮

看護学校

学生寮

文教厚生常任委員会

3月13日、現地踏査及び付託された議案について審査を行いました。その経過、並びに結果についてご報告します。

議案第27号 平成26年度一般会計予算〔所管部門〕 可決

問 和光園の不動産鑑定委託料の計上理由について伺いたい。

答 26年度から民営化計画に着手したいと考えており、施設の移管について協議を行うため、その基礎資料として不動産鑑定を行う予定です。

問 27年度から民営化する予定なのか。

答 26年度に計画を策定し、その中で民営化するかどうか結論を出す予定です。

問 学校給食施設整備工事委託料について伺いたい。

答 大矢野中学校の給食調理場を新しく建て替えるため、26年度で設計委託を行う予定です。

問 共同調理場ではなく単独の調理場なのか。

答 現在は大矢野中学校単独ですが将来的には中北小、中南小、維和小中学校も含めて調理できるように考えています。

問 子ども会補助金を計上してあるが、市内にどのくらいの子ども会があるのか。

答 約60団体、520人ほど登録があり、申請に基づいて1人あたり500円の補助を行っています。毎年、全体の6割から7割程度の申請があっております。

議案第30号 平成26年度介護保険特別会計予算 可決

問 介護予防委託料について、25年度は減額補正しているが、26年度分は増額になっている。その理由について伺いたい。

答 25年度は対象者の内、16%の参加と少なかったが、介護予防の対象者は年々増えてきており、予算は対象者全員分を計上しています。

問 介護認定調査員の選考基準について伺いたい。

答 調査に必要な基礎的知識を有する看護師やヘルパー1、2級などの有資格者を対象としています。
認定調査には、統一的な認定調査力を備える必要があるため、研修を行い、調査員のレベルの統一化を図っています。

市政のココを問う

一般質問

3月定例会では5人の議員が一般質問を行いました。

〔1日目〕

氏　名	質　問　事　項
田中たつお	・前島開発について
嶋元　秀司	・水産振興について ・沿岸安全対策について ・海区調整委員会の選挙人名簿登録手続きについて
宮下　昌子	・介護保険制度改正について ・教育問題について ・新年度予算について

〔2日目〕

氏　名	質　問　事　項
島田　光久	・上天草市合併10カ年の検証
田中　万里	・農業における先進的経営について ・平成26年度当初予算の詳細について ・上天草市第二次総合計画（案）について ・オリンピック合宿誘致について

※一般質問（定例会及び臨時会）の会議録についてはホームページや各図書館にて閲覧できます。
（定例会終了後、概ね２カ月後にホームページへの掲載及び図書館に会議録配付となります）

Q 前島・千巌山開発の総額について

A 総額13億円です

田中たつお議員

【前島開発について】

田中　前島開発にかける思いとイメージ戦略について。

市長　この開発については、上天草市が今後の観光政策あるいは経済振興において、最重要拠点に位置づけられると考えております。イメージとしましては、地中海型高級リゾート地です。

田中　この開発による効果について。

経済振興部長　前島を観光交流の拠点として、市内各観光地へのつながりと、地域の活性化を目指していくものです。

田中　観光客の入込客数はどの程度か。

経済振興部長　年間100万人程度を予定しています。

田中　この開発を進めるために地区住民に対して、執行部が一体となってぶつかっていくしかないと思うが、どうか。

市長　我々が、地元に対して説明がいかにもないようなお話ですけれども、説明会はここ何年かの間で随分行っていますし、水面下で色々な方々とお会いしています。

田中　私は、地域をないがしろにしてほしくない。まずもって対話を重視して頂きたいと思う。

次に、上天草市の景勝地「高舞登山」にある展望台が非常に傷んでいるが、改修なりをされてはどうか。

経済振興部長　確かに建築後20年以上経過しております。今後調査して、必要に応じて、改修なども考えていきたいと思っております。

田中　高舞登山だけではなくて、他の観光施設も定期的に回って、不備な点があればどうすればいいのか協議して頂き、事故などを起こさないために早めの対応を願う。

前島進入口

Q 応急ポンプ使用樋門のポンプ常設化を

A 冠水対策検討部会で検討している

嶋元　秀司議員

嶋元　応急のポンプが必要な樋門については、危険な箇所から常設化も考えるべきではないか。

総務企画部長　現在、市内に13カ所設置しています。梅雨時期における一時的な予防である事から、今のところ常設化は予定していませんが、浸水被害を最小限に抑える為に、排水機場の機能を向上させるなどの方法も含め、今後、取り組む必要があり、現地調査・住民の方の要望などを協議していきます。

【魚食普及の取り組みについて】

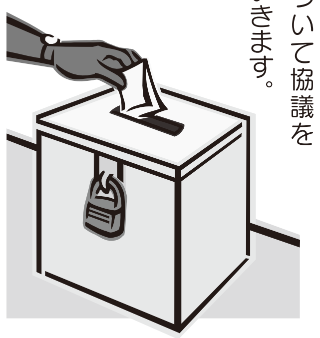
嶋元　小・中・高校において、お魚料理教室が行われているが、効果・成果は。

経済振興部長　これまで648名の児童生徒が体験しています。アンケートによれば、魚に初めて触れた・家でもやってみたいなど、関心度は高まりつつあるため、今後に期待したいと思います。

【海区調整委員会における選挙人名簿登録手続きについて】

嶋元　昨年9月に行われた登録手続きで選挙人名簿登録者が激減しているが、手続き内容に他市との相違はなかったか。

選挙管理委員会事務局長　県からの是正の指示については他市も同じ内容ですが、申請書の送付方法、受付については相違があり、従来通り漁協受付が6カ所、市役所・区長受付が1カ所、本市のように市役所受付が1市という部分に違いがみられ、統一すべきと認識しております。そのため、本市を含む県内14市で構成しております『県都市選挙管理委員会連合会』というのがあり、その中で統一した方法の策定について協議を行っていきます。



Q 介護保険制度改正で利用者への影響は
A サービス低下につながらないよう地域支援事業で取り組む

宮下　昌子議員

宮下　今回進められている制度改正は、要支援を切り捨てる内容となっている。要支援認定者数は。

健康福祉部長　現在、要支援1と2合わせて768人で、利用割合は59.9%となっています。

宮下　上天草市ではどんな影響があるとお考えか。

健康福祉部長　サービス低下につながらないよう地域支援事業の中で取り組んでいかなければならないと認識していますし、一つ一つの事業について検討していく必要があると思っています。

宮下　現在受けておられる方たちの給付が下がらないようにしていただきたい。

健康福祉部長　効率的に実施するために、ニーズ調査をしながら今後の事業の展開を図っていきます。

【新年度予算について】

宮下　上天草物産館（さんぱーる）改修設計委託料1千万円の説明を。

市長　運営会社から、買い物がしにくい現状のレイアウトを変更し、売上増に結びつけることを考えて欲しいと打診があっておりました。また、レストランで団体客を迎え入れるようなものも必要であり、大規模改修をして、現在の売上げの8億円から15億円を目標に予算計上しております。

上天草物産館さんぱーる

宮下　平成26年度から交付税が減る中での大規模改修、前島の大規模開発も含めて、今の時期にしなければならないのか。「給料は上がらん。年金は下がる。消費税増税。これでは生活ができない。」という声があり、市民目線での予算とは思えない。市民の暮らしを守る予算にすべきだ。

Q 上天草市10カ年の課題は
A 過疎化と人口減少である

島田　光久議員

島田　合併10年間の人口動向はどのようになっているのか。

市民生活部長　平成26年2月末時点で、合併時からの人口減少数は5千423人となっています。

島田　今後の推定人口はどのようになっていくと予想されているのか。

総務企画部長　将来人口指数として平成35年の推計では2万5千539人となっていますが、これを2万9千人以上を目指すということで掲げています。この目標指数となる2万9千人は、10年後の市内の総生産GDPが100億円の増加による雇用増加数1千300人を見込んでおります。これにより人口減少は防げるだろうということです。

島田　今後の上天草市の将来展望について市長の思いを伺いたい。

市長　人口減少を食い止めるためには、雇用の場を作ることと、若い方が住める地域を作るのが、最大の課題と認識しています。現在観光政策はうまく回っておりまして、これから観光客が2倍、3倍押し寄せて、天草はすごいことになっているように仕掛けていかなければならないですし、またそうなるのではないかと期待しております。

島田　これまで企業誘致、観光振興を重点政策としてやってきているが、交流人口の増加は、地域の人口問題の根本的な解決にはつながっていない。人口が減少すると地域経済は必ず縮小していき、若い世代の定住人口が増えないと、子どもも生まれない。高齢者が不安なく1日を過ごせるようにするにはどうすればいいのか、また人口減少に見合った財政支出の検討に早いうちから取り組む必要があるのではないか。

Q 農業者が抱える課題を解決する様に様々な取り組みを
A よりよい農業政策ができればと考えている

田中　万里議員

【農業における先進的経営について】

田中　上天草市の農業の現状と課題ということで、当市の農業を営んでおられる方たちが課題として上げられるのが、高齢化により後継者が不足している。また、小規模のため、低所得、その割には重労働、このような課題を解決するために、議員として、どのようにこの地域の農業を行政とともに後押ししたらいいかということで、千葉県の千葉大学環境健康フィールド科学センター内にあるJA全農が運営する施設の視察を行ってきた。

施設は1段密植養液と統合環境制御、雇用労働に重点を置いた水耕栽培が行われ、農業者は経営者に回り、農業をされる人はパート、言うなれば労働者として、そこで雇用をするというやり方になっていた。また、水耕栽培を導入することのメリットが、法人経営による雇用の安定化、ブランド化、収穫率の向上による6次産業化の推進で、輸出の可能性などが生まれてくる。しかし、デメリットとして、建設費が1億円ぐらいかかる。この建設費を、今の上天草市で捻出するのは、大変厳しいことだが、国の政策にのっとった補助金等を活用し、農業の発展につなげるべきと思うが、その部分についてはどのように考えているのか。

千葉大学施設内

市長　国の助成制度がありますし、また経済対策でも多々あっておりますから、我々といたしましては、貪欲に獲得していき、市全域において、農業に従事される方、あるいは新しく農事組合法人との法人設立を目指していらっしゃる方、そういった方々も含めて、ぜひ支援させていただきたいと考えております。

議員活動報告

私たち議員は、議員有志で勉強会や視察研修を行い、議員としての資質向上や、今後の市政にどのように生かすことができるかを考え活動しています。

今回は3月に鹿児島で実施された研修について報告します。

財政についての研修

＊参加議員＊
嶋元秀司議員・田中たつお議員
小西涼司議員・島田光久議員
園田一博議員・堀江隆臣議長
＊研修日程＊
[1日目]
「歳入のポイント」について
[2日目]
「歳出のポイント」について
「地方財政制度と自治体財政」について
[3日目]
「自治体財政の今後」について

3月26日から28日にかけて『議員として知っておくべき財政のポイントについて』の研修を受けました。財政を見る心構えとして①自治体は一様ではなく、財政力の格差や、一部の自治体にのみ認められている財源もある②これまでの運営の違いが財政状況に大きく影響を与えているなど、事実をありのままに見ることが大切で、他の自治体と比較することにより、客観的に見ることにつながるとのことでした。

上天草市の施策に生かせ!! 先進地視察研修報告

経済建設常任委員会 編

1月20日（月）～21日（火）まで、「鳥獣被害防止計画」「有明愛菜農園」（白石町）と「6次産業化」（古賀市）について視察研修を行いました。

佐賀県杵島郡白石町

◎鳥獣被害防止計画の取り組みについて

白石町では、隣接する武雄市と共同で「鳥獣被害防止計画」を策定し、耕作放棄地のやぶ払いや、電気牧柵の設置、管理方法などの対策を地域集落一体となって取り組む指導を行っている。また、被害対策協議会から農家に対し、電気牧柵（１台500m）を月1,000円で貸し出しているが、希望者が多く間に合わないとのことでした。

◎有明愛菜農園の取り組みについて

農業者以外の方に農地を解放し、農業に理解を深めてもらうことを目的に、町が遊休農地を有償で借り受けて、利用者の募集や利用料の徴収などの事務を行っており、耕作放棄地解消のための活用方法として参考になりました。

福岡県古賀市

◎6次産業化の推進について（元気なおばちゃん支援事業）

意欲ある60歳以上の女性農業者を公募し、年３名程度に、やってみたい農業にかかる費用の４分の３以内（上限100万円）の補助を行うもので、この事業で栽培した農産物については、生産量の約７割を食品加工に活用している。また、新たな商品開発を目的に、K-1グランプリとして加工商品の審査を行い、入賞した賞品については積極的に販売促進を行っているとのことでした。

今回の視察研修は、上天草市の今後の取り組みにも生かせる有意義な視察となりました。

Kamiamakusa-city assembly report

文教厚生常任委員会 編

1月23日（木）～24日（金）まで、「教育問題」（北九州市）と「小規模多機能型居宅介護施設」「介護予防事業」（大牟田市）について視察研修を行いました。

北九州市

▲菊池先生（中央）

◎教育問題について

北九州市では、学級崩壊やいじめ対策として「学校支援ライン」が設置され、学校支援及び少年サポートチームを作ったり、郵便局との連携で「ポストパトロールネットワーク」など取り組みが進んでいます。また、崩壊したクラスを次々に立て直しされてきた「菊池省三先生」は、私たちの質問に

①児童生徒を変えることによって保護者も変わっていく。
②学校、関係機関、保護者が一体となりチームで動く。
③教職員や保護者が物事を決めるよりも、生徒会活動を充実させ、児童生徒同士で決め事を作らせる。

と答えられました。

学校、行政、地域などチームで取り組むことが大事だと感じました。郵便局との連携はすぐにでもできそうです。

大牟田市

◎「小規模多機能型居宅介護施設」「介護予防事業」について

大牟田市は、全国平均よりも10年以上進んだ高齢化率と言われ、高齢社会の先進地として独自の事業など取り組みが進められていました。

「介護事業者協議会」を設立し、事業者と共に実践事例発表会や研修などの開催。また、市が小規模多機能施設を設置する際の条件にしている地域交流施設整備に750万円を上限に補助を行っています。

介護予防事業については、介護度で分けるのではなく、地域の皆さんと参加できる事業に取り組んでおり、事業終了後も、施設が独自に行っている事業に参加したり、自主的にグループを立ち上げるなど良い変化が生まれているようでした。

課題として、研修の重要性や送迎の問題などを挙げられましたが、対象者を広げ楽しく参加できる予防事業は、我が市でも取り組めればと思いました。

笑顔がキラリ

突撃インタビュー

姫戸町で見つけました！最高齢と最年少の“笑顔がキラリ”

斎藤敏一さん（101歳）〈大正元年11月8日生〉

毎日の散歩と少々の焼酎をたしなみ「老人会とさわやか会には必ず参加している」と笑顔で話されました。

隼人お兄ちゃんと一緒

山口弾馬（はずま）くん（2カ月）〈平成26年3月5日生〉

両親からひと言・・・「病気せず健康で元気な子に育って欲しいです。100年後にまた最高齢で載れるといいですね！」

○インタビュー・撮影にご協力いただきありがとうございました。

まちを歩いて…　大矢野地区

◆慈育観音堂

天草五橋の父、森慈秀大矢野町長（当時）が、亡き妻静子さんを偲び、地域の観音信仰の縁として私財を投入、さらに地域住民の寄進によって昭和41年4月に建立されました。森氏所有の観音菩薩像が数多く鎮座しているこのお堂は昨今では老朽化が著しくなっていましたが、数年前からご縁日である毎月18日にご開帳。春には満開の桜が咲き、丘から見下ろす景色は絶景ともいえるものです。

慈育観音堂

表紙の写真

松島町志賀間地区では平成19年から地区交流運動会を開催しています。さわやかな汗を流した後は婦人部会のおいしい手料理が待っています。

次の定例議会は　6月2日開会です

ぜひ傍聴にお越しください
詳しくは議会事務局へ　0964-26-5536

編集後記

この号が、皆さんの手元に届く頃は、新年度が始まって一カ月半。進級した児童生徒、就職した若人、定年退職した人などそれぞれの新しい生活が始まっています。少しは新しい環境に慣れた頃でしょうか？

人は人生の節目には、様々な夢を持ったり決意をすることでしょう。皆、その夢や決意を実らせるために努力しています。

今回『笑顔がキラリ』のコーナーで、最高齢の斎藤さんと最年少の弾馬君を取材させていただきました。

斎藤さんは、戦中戦後の厳しい時代を生き抜いてこられたと思いますが、今の日本の平和の中で幸せな時間を過ごされています。弾馬君が大人になる頃も、今のまま平和な世の中であることを願わずにはいられません。

平和な世の中であるからこそ、人は夢を持ち、その実現に向かっていけるのだと思います。平和な国をつくるのは大人の責任です。

（宮下昌子）

上天草市議会
広報編集特別委員会
委員長　平田晶子
副委員長　島田光久
委員　嶋元秀司
　　　何川雅彦
　　　宮下昌子
　　　小西涼司